

「石はなにからできている?」

川崎市立平小学校二年 瀬戸 太平

石のひみつ

ぼくがこの本をえらんだりゆうは、まず、
だい名がすごく気になったからです。それと
ひょう紙には色いろな大きさやもようの石が
うつってありますが、そのぜんぶが同じでき方
なのかが知りたくなりました。

本に出ている石は、生き物のからからでき
たもの、マグマがひえてかたまっただけのも
ろやすなからできたものがあります。そのど
ろやすなはマグマからできているので、多く
の石をつくっているのがマグマだと言うこと
におどろきました。

ぼくが一ばんほしいと思ったのは、キラキ
ラしたつぶつぶが見える灰色っぽい「安山岩」
と言う石です。なぜかと言うと、その石の中
からはガーネットなどのほう石が見つけれ
るかもしれないからです。ほう石もマグマか
らできているので、マグマがあるちきゅうの
おくふかいところには、石のこうじょうみたい
だな、と思います。

今年の夏に海でひろった石を一つもってい
たので、この本でしらべてみました。生き物
生まれの「石灰岩」か、「チャート」のどち

らかだと思いい、本にのっているやり方で実け
んしました。さんせいおのせんざいをかけても
あわが出なかったのと、書いてあるとくちよ
うが近かったもので、「チャート」ではないか
とわかりました。

本にのっていた石を一つもっていて、すご
くうれしかったです。また、海や山や川に行
って石をたくさんひろってきて、本にのって
いた石をぜんぶあつめたいと思います。